

キャリアセミナー（国際貢献）

【テーマ】国際協力とコミュニケーション

【日時】平成 25 年 7 月 4 日

【講師】亀山恵理子さん（奈良県立大学 地域創造学部 講師）

【感想】

●東ティモールの歴史や現地での活動、異なる背景を持つ人々との関係づくりについてお話を伺った。異なる背景を持つ人々とのコミュニケーションとして、現地の人々を大切に、現地の人々の想いや価値観・背景を知り、自分の思いや考えをそこに融合させていく。文脈を擦り合わせていくことがとても大切なのだと再認識しました。人との関係を築いていくことの難しさもありますが、積み重ねていくことで少しずつ出来ていくこともあると思えます。継続性の難しさは常に課題になっています。

●今日は、「国際協力とコミュニケーション—東ティモールにおける NGO 活動から考える—」というテーマのセミナーを受講させて頂きました。東ティモールの歴史を振り返りながら、現地の実況写真も沢山提示されることで、今まであまり知らなかった国への理解が深まりました。そして、たばこを 1 本でも買えるなどという地域の特徴を持つお話を聞けば聞くほど、ある国への理解は言葉も大切ですが、文化や慣習に対する理解もいかに重要であるかということをしみじみと感じました。文化や慣習を把握することは、現地の人々とのコミュニケーションを円滑に進めるためのカギの要素となります。現地の人々との価値観のズレを減らすことや、相手と自分の思っていることの擦りあわせこそが国際協力で大切、という大変真摯なお話を聞くことが出来たので、本当に勉強になりました。このような要素を今後自分自身と人との関わり合いに活かせれば幸いに思います。

●東ティモールにおけるご経験を具体的にお話して頂き、大変充実した時間を過ごさせて頂きました。特に第 2 章～3 章でお話して下さった活動の具体的な内容と、そこから得られた先生の国際協力についてのお考えは、強い説得力をもって心に迫りくるものがありました。最後にお話して下さった「相手の文脈と自分の文脈との擦りあわせ」「相手の世界を理解しようという姿勢を持ち続けること」が国際協力とコミュニケーションで重要であり、それが日常生活で養える能力だということが最も興味深かったです。このテーマを難しいものや大きなテーマと考えすぎることなく、人間の基本的な行動、思いやりから成り立つものだと教えて頂いたように思いました。東ティモールでの先生のご活躍（成功）は、相手に丁寧に向き合うという先生のお人柄によるところが大きいのだなと気づきました。今回は伺えませんでした。が、単身、東ティモールにいらっしゃった行動力も素晴らしいものだと思います。貴重なお話を有難うございました。

●キャリアについて考えるいい機会になりました。日本人同士でも話が通じなかつたり誤解が生まれたりするのに、それが言語の通じない人となると大変な作業だと思います。「私たちは分かり合っていない」から始める、新しい視点を頂きました。バリ島の空港で運命の方とお会いされたとは！偶然は必然なののでしょうか。これが“縁”というものでしょうか。神はサイコロを振らないのだなあ。